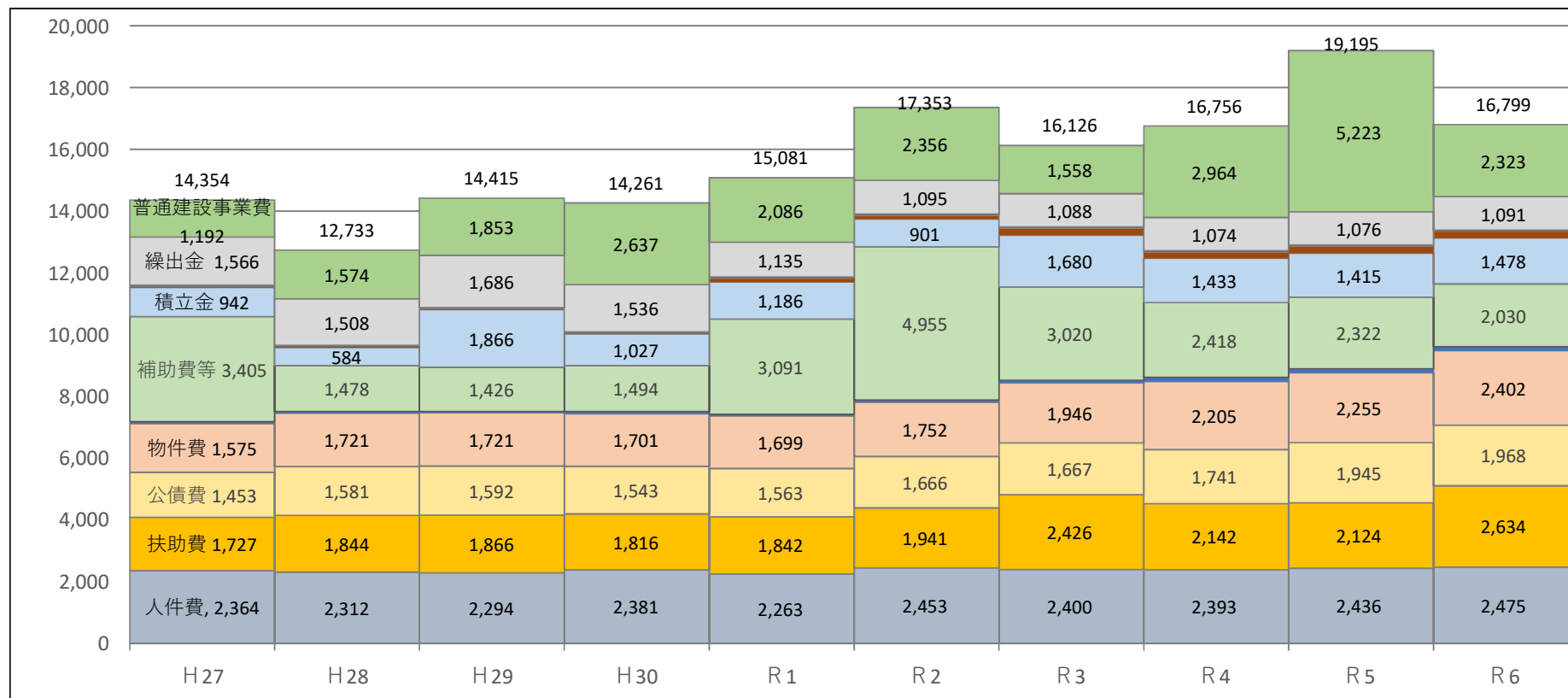


白石町の財政状況について(歳出)

資料1

過去10年間の推移

(単位:百万円)



- ・歳出額は、年によって増減はあるものの、増加傾向にあります。
- ・普通建設事業費のうち、R5が大きいのは、給食センター建設事業や産地生産基盤パワーアップ事業(カントリーエレベーターなど)、R4は新設中学校整備工事、H30は道の駅建設事業によるものです。
- ・補助費等は補助金や負担金等ですが、R2が大きいのは一人10万円の定額給付金事業によるもの、H27とR1は国営筑後川下流土地改良事業償還負担金、R3はし尿処理センター建設費負担金によるものです。
- ・物件費は、ふるさと納税の増加や、物価高騰で増加傾向にあります。
- ・扶助費のうち、R3、R6が大きいです、非課税世帯等への臨時特別給付金等によるものです。
- ・積立金は、ふるさと納税や決算剰余金などを基金に積み立てています。
- ・人件費は、横ばいから微増状態にあります。

白石町の財政状況について(歳入)

過去10年間の推移

(単位:百万円)

20,000									19,949	
						17,813			2,510	17,413
					15,497	1,440	16,787	17,439	1,994	1,068
15,000	14,737		14,884	14,674		1,667	1,867	1,656	1,441	2,211
	地方債, 2,337	13,349	1,580	1,411	1,856	958	1,825	1,969	1,428	1,430
		589				628		1,011		
	その他, 1,847	1,685	1,956	1,776	1,850		1,076	1,304		1,133
		974	1,407	1,249	1,472		818			
10,000	繰入金, 554	264	396	347	571	6,107			4,689	3,843
	寄附金, 137						3,666	3,990		
	国県支出金, 2,204	2,256	2,174	2,744	2,642					
5,000	地方交付税, 5,518	5,384	5,177	4,993	4,925	4,814	5,294	5,261	5,427	5,487
0	地方税, 2,140	2,197	2,194	2,154	2,181	2,199	2,241	2,248	2,460	2,241
	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6

- ・歳入額は、歳出額に連動します。決算剰余金(歳入と歳出の差額)は、翌年度に繰り越して、半分以上は基金へ積立てています。
- ・地方債は、普通建設事業などの財源となるため、事業費が大きい年は借入額も大きくなっています。
- ・地方債のうち、R5が大きいのは新給食センター建設事業、H27とR1は土地改良事業償還負担金、R3はし尿処理センター建設費負担金によるものです。
- ・国県支出金のうち、R2からR6が大きいのは、国からのコロナ対策や物価高騰対策によるもので、特にR2が大きいのは、一人10万円の定額給付金によるものです。加えて、R5は産地生産基盤パワーアップ事業補助金によるものです。
- ・地方税は、ほぼ横ばい状態ですが、R5は、玉ねぎ価格の高騰により大きくなっています。
- ・地方交付税は町の主要な財源です。H27からR1まで合併優遇措置が段階的に減っていき、R2から優遇措置がなくなりました。そのためR2が最も少なくなっています。それ以降は国税の上振れや物価高騰を反映して増加傾向にあります。
- ・寄附金は、ふるさと納税が増加傾向にあります。ふるさと納税は経費を除いた分を基金に積立て、翌年度に活用しています。
- ・その他は、地方譲与税、各種交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入。

令和 5 年度市町決算

実質公債費比率

1	鳥栖市	0.6
2	玄海町	1.0
3	佐賀市	2.4
4	太良町	6.0
5	基山町	6.6
6	上峰町	7.5
7	大町町	7.6
8	伊万里市	8.0
	県平均	8.1
9	有田町	8.5
10	嬉野市	8.7
11	吉野ヶ里町	8.9
12	神埼市	9.3
13	鹿島市	9.3
14	小城市	9.3
15	みやき町	10.0
16	白石町	10.2
17	武雄市	10.5
18	江北町	12.1
19	多久市	12.4
20	唐津市	13.5

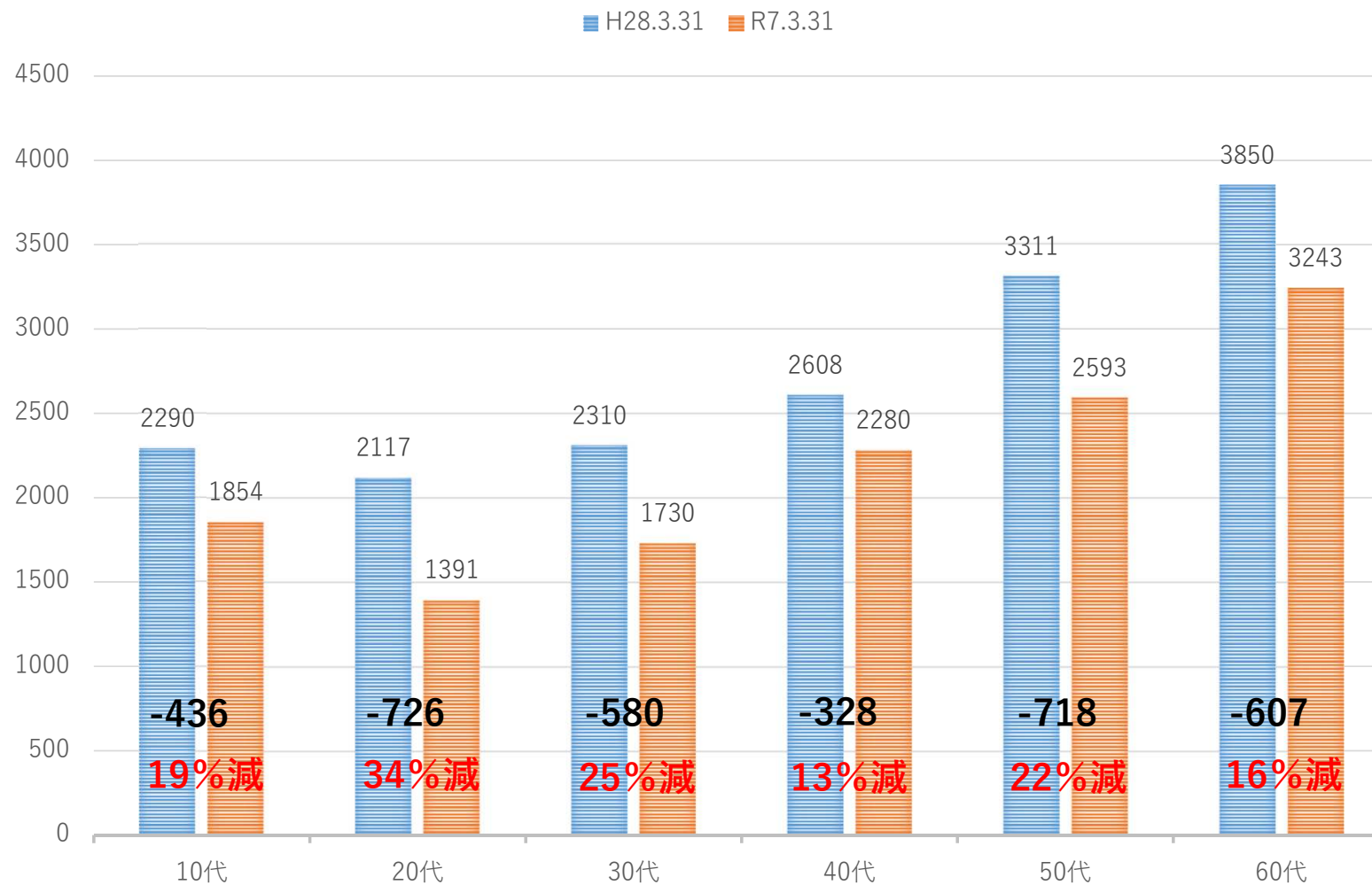
佐賀県	9.7
-----	-----

経常収支比率

1	玄海町	67.8
2	鳥栖市	84.9
3	伊万里市	85.9
4	唐津市	89.3
5	江北町	90.1
6	上峰町	91.0
7	太良町	91.0
	県平均	91.1
8	基山町	91.5
9	白石町	91.6
10	大町町	92.2
11	吉野ヶ里町	92.4
12	有田町	92.6
13	嬉野市	93.1
14	鹿島市	93.4
15	多久市	93.7
16	神埼市	94.0
17	佐賀市	95.1
18	武雄市	95.6
19	小城市	95.7
20	みやき町	100.6

佐賀県	93.9
-----	------

生産年齢人口の年代毎の推移



※10代（10～19歳）、60代（60～69歳）で算出